

## 法人化及び雇用環境の整備により、従業員を確保！ 株式会社寶利農場（深川市）



### 【組織等の概要】

- 代表者：  
代表取締役 寶利 靖必  
(ほうり やすまさ)
- 農業従事者数：  
役員2名、正社員2名
- 経営面積：約37ha  
(内訳：水稲32ha、  
そば4haほか)

### ◇【取組の経緯と概要】

- ◆寶利代表は1999年に親元就農。
- ◆家族経営だったが、後継者がいなかったため、後継者及び従業員の確保を目的として、2014年に法人化。
- ◆2017年に1名雇用（現在は専務取締役）し、その後、会社の長期的な経営方針を策定。
- ◆従業員が安心して働くことができる環境を整える必要があると考え、社員教育や福利厚生を手厚くした。農業は覚えることが多く、教育に時間がかかるため、できるだけ離職を防ぎ長期間雇用することで、従業員の能力が向上し、業務が円滑に回るようになると考えている。
- ◆労働環境の整備にあたっては、社会保険労務士と協議しながら就業規則を作成。休日（日曜・祝日）、育休、冬季期間（12月～2月）の給与保証等、福利厚生も充実させた。

### 【取組の成果】

- 長期的に働くことができるよう労働環境を整え、会社の経営方針を明確に定めた結果、農業以外の業界と遜色がなくなり、2025年に1名、2026年に1名の従業員を確保することができた。
- 給与保証や福利厚生の充実により、従業員の心に余裕ができ、積極的に新しい取組を考えることができています。



▲パックご飯の試作品。  
新事業開拓も目指す。



▲就業規則は社員が安心して働くことができる条件が揃っている。

### 【今後の展望】

- 労働力に余裕ができたため、経営面積を増やしていきたい。
- スマート農業と従業員教育を両輪で進めることで、経営基盤を強化したい。
- 安定した就労環境の中で、従業員から「自ら生産した農産物を加工・販売したい」など新たな業務の提案があるため、従業員とともに当法人を盛り上げていきたい。